

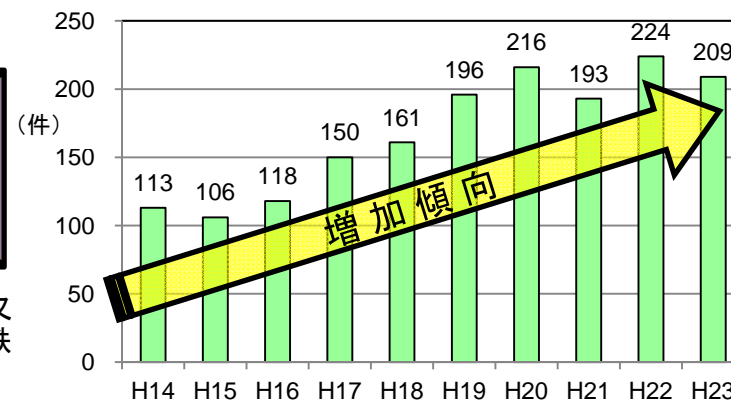
# 鉄道駅におけるホームドアの整備促進

【ホームドア】



近年、駅のホームにおいて  
**旅客の接触・転落事故が増加**

※ 平成14～23年度の間にホームから転落又はホーム上で列車と接触により発生した鉄道人身障害事故の件数

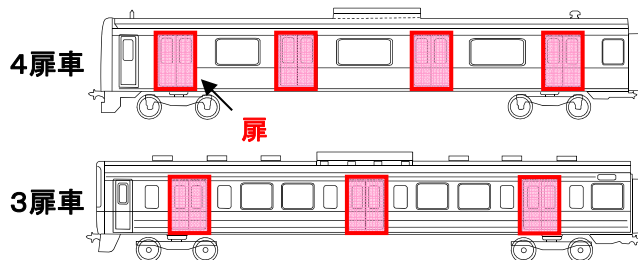


特に、視覚障害者の「2人に1人」がホームからの転落経験があり、駅のホームは「欄干のない橋」と批判

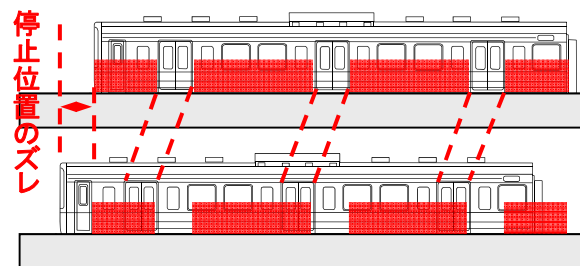


- 視覚障害者からの要望が高い駅、利用者数が多い駅(特に利用者数10万人以上の駅)について、優先的に転落防止対策を実施  
※ 平成24年9月末で、全国約9,500駅のうち539駅(利用者数10万人以上の駅(全国235駅)のうち34駅)でホームドアを整備済。
- 一方で、ホームドア設置には、車両扉の不一致等の「技術面」、ホーム補強改良工事等を含む「コスト面」等の大きな課題が存在

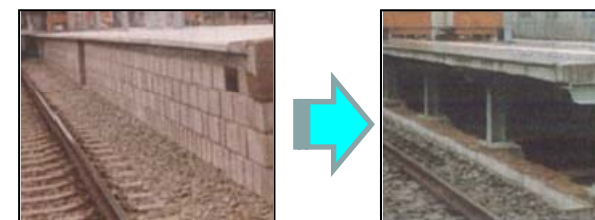
課題①: 車両扉の不一致



課題②: 列車の停止位置の精度向上



課題③: ホーム補強改良工事(多額の費用)



盛土式ホーム

補強されたホーム

## 《ホームドアの速やかな普及に向けた取組》

- ホームドア等の整備に対する国、地方公共団体による支援(補助、税制等)の実施
- 車両扉位置の相違やコスト低減等の課題に対応可能な新たなホームドアの技術開発の推進